

# 星屑

2013年12月号

No. 465



ラブジョイ彗星  
C/2013 R1  
撮影  
2013/11/8

## ラブジョイ彗星

2013年11月8日撮影

タカハシε-180ED キヤノンKissX3

2:42-3:11 2分露出を11枚コンポジット

彗星核でガイド 熊本市南区城南町塚原の自宅屋上

熊本県民天文台

10/12(土) 熊本県環境センターで  
**秋の星空の観察会 33~4名 + α**  
金星と半月、そして夏から秋の星空を観察  
県空のペットボトルを使って撮影練習し、月の撮影に挑戦



**水俣市にある、熊本県環境センターでの「星空観察会」**

参加者は 33~4名、環境センターのスタッフ3名、そして私。18:30の受付開始と同時に、金星の観察からスタートしました。そして、随時星空解説も。19時頃には、半月があるのに、そのすぐ側にうっすらと天の川が見えていました。すごい大気の透明度です。その代わり北風が強くて、寒さを感じるほどでした。環境センターから見える八代海はザワザワしていて、白波が立ちっぱなし! 「この波の立ち方なら、風速8m以上、たぶん10m近くありますね!」などと、ヨットで習得した風速判定法が役に立ちました。

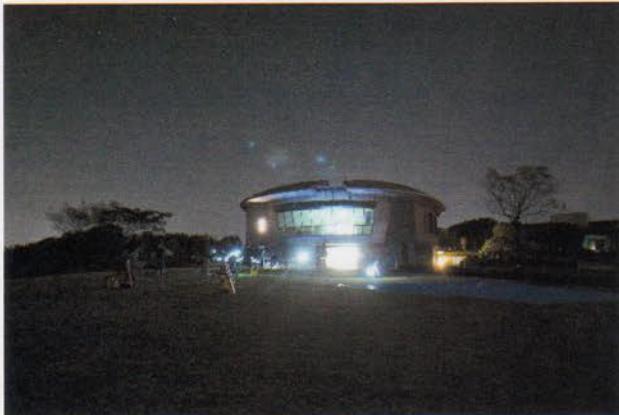


**金星の観察が一段落してから**

19:15、ほぼ全員がそろったところで、一旦室内に移動して「星空解説」を行いました。解説のスタート画面は、電子紙芝居「アンドロメダ物語」のクライマックスシーンです。開会の挨拶、県民天文台の紹介、ボイジャーが太陽系を離脱した話題、イプシロンロケット打ち上げ成功の話題、秋の星座と今夜見える星空の紹介、アイソン彗星の解説。それから、星座早見の使い方、双眼鏡の使い方を駆け足で解説。デジカメでコリメート撮影する方法も、コツを伝授。

**再び屋外へ**

次に、屋外へ出る準備です。一グループに1台ずつ、三脚付きの双眼鏡かフィールドスコープを配布。さらに、空のペットボトルを手渡して、デジカメで月をコリメート撮影するやり方を



それぞれ練習して頂きました。その間に、私は先に屋外へと走り、大小の望遠鏡2台に月を導入して待ち受けました。次々に外へ出てきた人たち、真っ直ぐに望遠鏡に集まってくるかと思ったら、まず自分で三脚を広げ、双眼鏡やフィールドスコープを月に向けて、導入していました。やっぱり、自分でやる方が楽しいようです。中には、いきなり、コリメート撮影に挑戦する人もいたようです!

### 月の観察と撮影

望遠鏡で月を観察。それから、撮影。12cm屈折では全景を。C-11（28cmシュミカセ）では、月面南部のクレーター群を、それぞれ撮影して頂きました。その間にも、星空解説を次々に展開し続けて・・・。

月の撮影が一段落したら、C-11に

アンドロメダ大星雲を導入して、見て頂きました。12cm屈折では、ミザールとアルコルを。最後に、C-11でM13を、12cm屈折でペルセウス座の2重星団付近を観察。いろいろ観察して、肉眼では、うっすらと白っぽく見えているだけの天の川だけど、そこは無数の星が密集している場所なんだと理解して頂けたようでした。

こんな感じで進行したので、時間はあつという間に経過。最後に、それぞれ双眼鏡やフィールドスコープを室内に持って帰って頂きました。そして、三脚・アダプター・双眼鏡（フィールドスコープ）を分解して片付けを行い、感想などアンケートを書いて、お開き、でした。

### 参加者の反応

「実技」をたっぷり導入したので、参加者の満足度がかなり高かったようです。とても寒かったのに、皆さんとても嬉しそう、にこやかな笑顔で家路につかれました。

なお、今回の「星の観察会」一番遠いところから参加した人の新記録が生まれたそうです。その方々（親子）、何と名古屋市からあいでになったのだとか。水俣病資料館を見に来たらしいのですが、ホームページを見て「星の観察会がある」と知り、参加されたのだそうです。他に、熊本市から参加した家族も2組ありました。ちょうど連休だったからでしょうか、すごいですね！

### 後片付けと簡単な反省会

望遠鏡を分解して、機材をコンテナに詰め、車に積み込んでから、環境センターの事務室でお茶を頂き、簡単な反省会をやって、それから一路城南町へと車を走らせました。天文台に帰り着いたのが23時半頃。望遠鏡などを下ろして、ミーティングルームに収納し、自宅に帰り着

いたときはすでに日付が変わっていました。

当日の午前中に望遠鏡の積み込みを済ませておいたので、我が家を出発したのは16時と水俣行きとしては少し遅めだったのですが・・・、それでも往復8時間かかります。

ふうーー！ とても楽しかったけど、水俣までの出張観察会、やっぱり、くたびれますね。

**10/27(日) 塚原古墳公園で**

## **恒例の 火の君祭り**

**県民天文台は、年に1度の「昼間の公開」**

**午前中は下弦の月、午後は金星を観察**

**お土産写真プレゼントが大人気！でした**

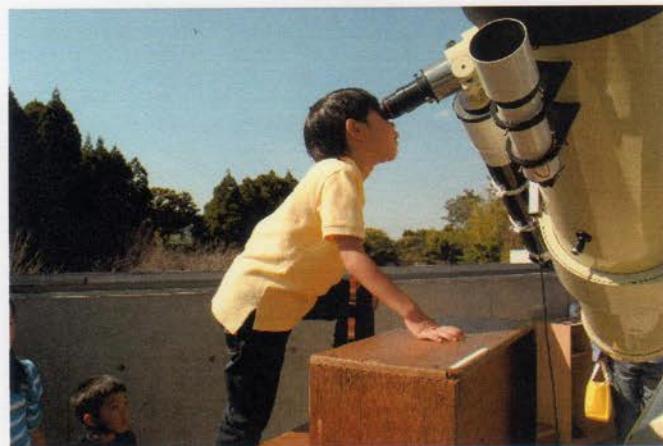
**来場者は、550名以上！ 大賑わいでした！**



### **午前は月と太陽、午後は金星と太陽を観察**

火の君祭りとしては久しぶりの快晴に恵まれました。近年は台風に見舞われたり、雨だったりでしたから、青空の下でスライディングルーフを全開しての「火の君祭り」は本当に久しぶりのことです。そこで、午前中は41cm反射で下弦の月を、12cm屈折で太陽を観察し、午後は、41cm反射を金星に向け、12cm屈折は太陽に向けたままで、それぞれ観察して頂きました。

### **数え切れないほどの来台者**



運営側は、大半の時間帯を2人で対応しました。来台者は、数を記録できた分が497名、記録ができないほどドット押し寄せた時間帯が数回あったことを考えると、総数は550名か、それ以上だったと思われます。

たっぷり準備していた「お土産写真」が、どんどん減っていく、そのスピードに驚きました。半月、スバル、木星と土星、アンドロメダ銀河、オリオン大星雲などの定番ものの他、二重星団、三裂星雲、わし星雲なども結構な人気でした。

#### 開台前からお客さんが…

私(艶島)は朝8時過ぎには天文台に到着。「早すぎたかな?」と思ったのもつかの間、観測室や階段に溜まったゴミがすごくて・・・、お掃除するだけでたっぷり1時間半もかかってしまいました。

お掃除が一段落したら、次は、望遠鏡の準備など。玄関から階段下までブルーシートを延ばしておき、そこで靴を脱いでから入場してもらうようにしておいたのが正解でした。9時頃から、入場しようとする人たちが来始めましたが、「10時頃から開台します!」と叫んでは準備作業を続けて、9時45分頃、最初の来場

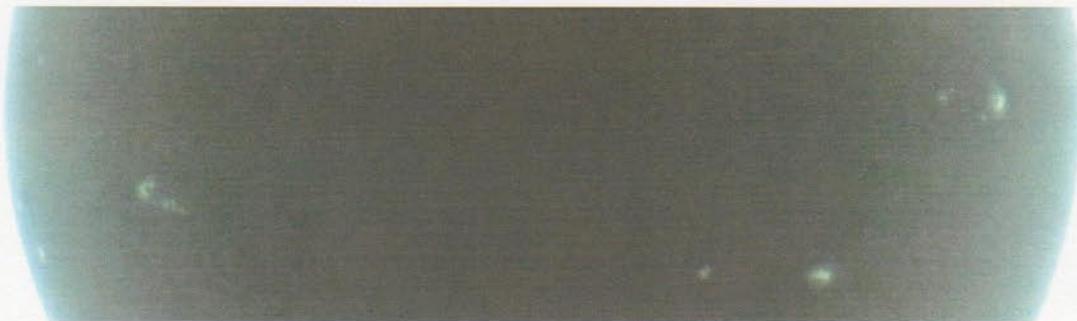
者を受け入れました。その後は、16時前にスライディングルーフを閉じるまで、ほとんど途切れることなく人の波が押し寄せ続けました。

#### 昼食を食べられるか?

これほどの忙しさでしたから、「昼食が食べられるか」が大問題でした。待っていてもお客様の列が途切れないで、とにかく交替で食べることにしました。せっかく2人分のお弁当を届けてもらっていましたからね。昼食を食べるのも「とにかく掻き込む」と言った感じ。

運営担当は、朝から14時頃までは西嶋さんと私だけ。その後高田氏が加わってくれたので

助かりました。朝からずっと立ちっぱなしのしゃべりっぱなしで、2人ともヘロヘロの状態でしたから。こんなふうに、お弁当のことしか記憶に残っていないほど、とにかく大忙しの「火の君祭り」でした。



### 来台者の反応

<太陽> 「何これ!? 真っ白!」（太陽が視野いっぱいに見え、周囲が黒く見えるので、何も見えていないのだと勘違い）、「黒点がすごい!」、「たくさん黒点がある」、「黒点はいつもこんなに見えているんですか?」、「黒点って、動くんですか?」、「黒点には、真っ黒いところと薄いところとありますね?」、「見えている黒点の大きさはどれくらい?」などなど・・・これが太陽を見たときの感想。

<月> 「アツ、お月さんだ!」、「でもどこにも空には月がないよ」、「えっ!? これ、金星なの!」、「欠けて見えているよ!」、「どうして欠けて見えるの?」、「まるでお月さんみたい」、「昼間なのに、明るく見えるのね!」、金星を見た人の感想はこんなふう。

<お土産写真> 「えっ!? もらって良いんですか! ありがとう!」、「月面のクレーターがすごいね!」、「お父さんがオリオン大星雲を選ぶから、あなたはわし星雲にしなさいよ」、「1人一枚だけなの? どれも欲しいのに!」、「えーう! 選ぶのに迷っちゃうよお! どれにしよう!?」、「もう一回来たら、もう一枚もらいますか?」、これはお土産写真を選ぶときの感想です。

<県民天文台> そして、「こんなところに天文台があったのですね」とか、「やっと来ました、夜にまた来ます」、「ここはボランティアで運営しているんですよね?」などと、向こうから声を掛けてくれる人がたくさんいました。ネットで県民天文台のホームページを見て下調べしてから来台された方が結構おられたようでした。募金をしてくれる人も多くて、それが嬉しかったです。

★★★ これからのスケジュール ★★★

11/24(日) YMCA学院高等学校「天文講座」

☆☆☆ 18:30~20:15 県民天文台で開催 ☆☆☆

11/29(金) 城南公民館講座 「秋の星座観察会」

☆☆☆ 19:30～ 県民天文台で開催 ☆☆☆

12/14(土)天文台の大掃除とトークアバウト

☆☆☆ 翼早朝、アイソン彗星観望会 ☆☆☆

12/22(日) 日南市教委 「冬の星座観察会」

☆☆☆ 19:00～ 県民天文台で開催 ☆☆☆

**1/12(日)・13(月)**

## 天体画像教育利用ワークショップ

☆☆☆ 国立天文台で開催 ☆☆☆

## 1/22(水) 山鹿市高齢者大学「星空と宇宙」

☆☆☆ 山鹿市で開催 ☆☆☆

2/28(金) 城南公民館講座 「冬の星空観察会」

☆☆☆ 19:30～ 県民天文台で開催 ☆☆☆

# ☆☆☆☆ ちょっと一眼

## Poem & Illustration

だんだんと秋も深まり、夜は結構冷えるようになってきました。夜空を彩る星座も冬がだんだん迫っています。木星はふたご座で目立って輝いています。そろそろ一般公開時間帯に見えるようになりますね。南西の金星は東方最大離角を過ぎ、明るさを増してきました。これからぐんぐん形が変化していくのが楽しみです。

さて、年頭から話題になっていたアイソン彗星ですが、なかなか明るくなってくれなくて、透明度の悪い低空ではまともに姿を確認できません。スピカと並ぶ頃には、私のコンデジでも写る程度に明るくなってくれると嬉しいんですが…星屑1月号の記事にできることを祈ります。

それにしても・・・満天の星空を楽しみたいですよねえ。透明度の良い空で。



## 冬の神話

狩猟の女神と 美の女神が  
うふふと笑い合って姿を消したころ  
獵犬を連れた猟師が天を闊歩し始めた

(星が一番綺麗なのは 冬 ですよね?)  
(いえいえ それぞれの季節にそれぞれ見どころがありますよ)

季節はそれぞれの神話を語るが  
冬が煌びやかのは この猟師がいるからだ  
女神すら虜にした男  
広い肩幅を強調する 引き締まった腰のベルトには  
輝く短剣

神々の王は高みから見下ろしながら  
サソリの不在を懸念する ガ  
いやいや  
決着はつかないのが いいのだ

猟師が対峙するのは つの振り立てた牡牛  
神々の王の化身との決着も また  
永遠につかない まま だ



By Dio

# 2013年10月の県民天文台

## ～運営日誌より～

開台率 8日／12日=66. 66%

総開台日数 8日

一般来台者数 648名

会員来台数 25名

日付	天気	担当運営	来台数	記 事
6 日 (日)	くもり時々晴れ間	艶島	11人	金星、アンタレス、M22,M13,ベガ 雲が見えたり、消えたり、変化の激しい天気 台風22号の影響なのか湿度が多い。雲の動き が速くて困りました。
11日 (金)	晴れたり曇つたり	西嶋 小林J 艶島	0人	晴れていたのでお客様来ると思ったのですが0 でした。金星、月を見たあと、下のスタッフル ームでティープレイク。アイソン彗星の話題で盛 り上がり。
12日 (土)	快晴	中島 中尾Tommy 小林J 西嶋 艶島	14人 36人	金星、月、ベガ、M57、アルビレオ、M13、M 45 賑やかでした。  県環境センターで星の観察会 金星、月、ミザール、M31,M33 星座早見の使い方、双眼鏡の使い方、デジカ メ天体写真の撮り方を説明。月の観察と撮影、 星座解説と星座物語など。大喜びしてもらいました。
13日 (日)	快晴	高田 高田	16人	金星、月、M13,アンドロメダγ、M45  明け方、アイソン彗星とエンケ彗星を撮影

日付	天気	担当運営	来台数	記事
19日 (土)	くもり	中島 小林M 西嶋 高田	0人	Talk About 星屑発送 アイソン彗星観測会 12月8日(日)早朝 大掃除・忘年会 12月7日(土)
20日 (日)	晴れ	小林M 西嶋 高田	2人	金星、月
26日 (土)	快晴	中島 艶島 小林J	12人	ベガ、M57,M27,アルビレオ、アンドロメダ、 M31,M45,M30、海王星、天王星、アルデバラン、 カペラ、X1 東海大天文部の学生2人をつれて白鳥さん來台。その後熊大天文部4人も來台。賑やかな一夜となりました。とてもよく晴れていて、星見日和でした。熊大天文部は学園祭に写真を出す予定での來台でしたが、私が風邪を引いていたため断念。
27日 (日)	快晴	艶島、西嶋 高田	550人	火の君祭り(昼間の開催) 月、金星、太陽 とにかく人が多かった!熱かった!途切れることなく最後はとりあえずの終了。
		艶島、西嶋 高田、島浦 小林J	7人	M57,M27,M52,天王星、海王星、アルデバラン、 M45,金星、ベガ、アルビレオ、M103,M75,X1

## 大掃除・忘年会のお知らせ

期日 12月14日(土) 12:00~ 大掃除  
17:00~ 夕食を兼ねた忘年会・トークアバウト

場所 熊本県民天文台

会費 社会人 実費  
学生は無料

— B 5 のたわごと —

アイソン彗星(C/2012 S1)、少しずつですが明るくなっているようですね。予報よりは幾分暗いですが、それでも明るい彗星には変わりないですよ。同じ東天に、ラヴジョイ彗星(C/2013 R1)も見えるので、いっしょに探してみては如何でしょうか。12月は平年より寒くなる予報が出ています。防寒対策はお忘れ無く。

☆ 12月の天文現象＆行事☆

- 2日（月） 水星の食（福岡：明縁から潜入 05:22地平下→06:26）
- 3日（火） 新月（09:22）
- 7日（土） 金星が最大光度（10:52 -4.7等 視直径41.1”）  
大雪（たいせつ … 寒気ますます盛んとなり、大雪の気配も強くなる）
- 10日（火） 上弦（00:12）
- 11日（水） しし座R星が極大（4.4～11.3 周期310日）
- 12日（木） ケンタウルス座T星が極大（5.5～9.0 周期91日）
- 14日（土） ふたご座流星群が極大（14日～15日にかけて極大の頃）  
大掃除（12:00～）・忘年会（17:00～）・トークアバウトも実施します  
もし見えればアイソン彗星観測会を15日早朝に実施予定です
- 17日（火） 満月（18:28）
- 22日（日） こぐま座流星群が極大  
冬至（とうじ … 太陽が黄道の南限にあり、北半球では最も昼が短い）
- 25日（水） 下弦（22:48）
- 29日（日） 水星が外合（11:30 -1.2等 視直径04.7”）  
天王星が東矩（11:53 5.8等、視直径03.5”）
- 31日（火） 大晦日

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2013年12月号 通巻465号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県熊本市南区城南町塚原2016番地 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01700-5-105697

NPO熊本県民天文台事務局

天文台ホームページ <http://www.kcao.jp/> メールアドレス astro@kcao.jp

メーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige2003@yahoo.co.jp 中島まで